

行ってみよう

めぐって学んで五感で
味わう紫波探訪

あたたかい人がいる、いこいの場所がある。
見て、聞いて、学んで、知って、味わって。
五感で味わう紫波の魅力をご紹介します。

6月3日(土)は、「東根山山開き」 爽やかな山のシーズンが到来!

アウトドアが楽しめるシーズンがやってきました。町に初夏の訪れを告げる「東根山山開き」が、6月3日(土)に行われます。

東根山は、岩手日報社刊『新・岩手の20名山』に選ばれた山で、春にはカタクリ、シラネアオイなどが咲き、夏は爽やかな緑、秋には紅葉が美しい、標高928.4メートルの町のシンボルです。

登山経験が豊富な水分地区の坂本幸男さんに、東根山の魅力を伺いました。「初心者でも気軽に、子どもから高齢者まで安心して登れる山です。頂上付近は少し坂がきつくなりますが、登りで約2時間半、下りは1時間半から2時間ほどで行くことができます。高山植物や山菜を見物し

ながら、ゆっくり登ると良いです。登山をするときは、歩幅を小さくすると、疲れがたまりにくいですよ。おすすめは、山頂直下の広場からの眺め。天

気が良ければ早池峰山や岩手山、姫神山のほか、焼石岳や烏海山まで見渡せる、大パノラマが広がります」とその美しさを語ります。服装は、長袖・長ズボンにスニーカーが必須。飲み物と食べ物、雨具を持てば充分とのこと。

下山後は、登山口近くの「フ・フランス温泉館」で登山の汗を流したり、産直で面白い物を楽しんだりするのも、東根山麓の上手な楽しみ方。登山のマナーや安全を守り、家族や友人同士で夏の山歩きを楽しんでみませんか。

登山道が整備され
四季の自然が楽しめる
ファミリーコースです。



「水分まちづくりの会」観光交流チームの坂本幸男さん。県外にも出向く登山愛好家



整備された登山道や、広く取られた登山口の駐車場など、初心者でも気軽に登れる条件がそろった東根山。登山口にある登山届への記入もお忘れなく



第34回東根山登山

- 日時 6月3日(土)
- ・午前7時40分～受付
- ・午前8時40分～開会、山開きと登山安全祈願
- ・午前9時～集団登山
- ・午前11時30分～山頂広場で昼食
- ・午後1時30分～班ごとに下山、解散
- 集合場所 ラ・フランス温泉館(交流プラザ前駐車場)
- 問合せ 水分公民館 ☎673-8222
(詳細はP10をご覧ください)



東根山は「岩手20名山」として知られるほか、国土地理院が管理する「一等三角点」が置かれる町唯一の山。山頂直下の広場からは、紫波の町並みの向こうに早池峰山も見られます(写真は平成24年の様子)